



Australian Government
Department of Home Affairs

オーストラリアでの生活

オーストラリアの価値観と原則

© Commonwealth of Australia 2020

オーストラリア国章を除き、本出版物に掲載されている情報は全て、クリエイティブ・コモンズ 4.0 国際ライセンス (Creative Commons Attribution 4.0 International) (<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode>) の下で提供されています。

上記は、当該ライセンスは本出版物での情報にのみ適用されることを意味します。

関連するライセンス条件はクリエイティブ・コモンズのウェブサイト (<https://creativecommons.org/>) で参照できます。また、CC BY 4.0 ライセンスの条文全文は以下のサイトで参照できます <https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode>。

オーストラリア国章の使用

国章の使用に関する規定の詳細は、オーストラリア連邦内閣官房 (Department of the Prime Minister and Cabinet) のウェブサイト (<https://www.pmc.gov.au/government/commonwealth-coat-arms>) に記載されています。

本出版物の使用に関するご質問は以下にご連絡ください。

Portfolio Media and Engagement Branch
Department of Home Affairs
PO Box 25
BELCONNEN ACT 2616

目次

背景	4
オーストラリアの価値観に関する宣誓書	4
オーストラリアの価値観と原則	6
オーストラリアの価値観	6
個人の自由と尊厳の尊重	6
信教の自由	6
言論の自由	7
結社の自由	7
法の支配の擁護	7
議会制民主主義	7
全ての人を対象とする機会均等	7
全ての人々が享受する「フェア・ゴー」の精神	8
相互尊重と他者に対する寛容さ	8
支援を必要とする人への同情	8
国語としての英語	8
オーストラリア社会の現状	8
法と社会慣習	9
人物要件	9
ドメスティック・バイオレンスや家庭内暴力	10
性別・性的指向・年齢・障がいに基づく差別	10
インターネット上での安全	10
オーストラリアの職場での権利	10
より詳しい情報	11

背景

本書は、オーストラリアに永住もしくは一時滞在するためのビザを申請する方のために編纂されました。オーストラリアの概要、歴史、生活、そして国民が共有する価値観について記されています。

オーストラリアの価値観には、以下に挙げる内容などがあります。

- 個人の自由と尊厳の尊重
- 信教の自由(特定の宗教を信仰しない自由を含む)、言論の自由、結社の自由
- 法の支配の擁護。国内の全ての人々は法の支配を受け、法を遵守しなければならないということを意味します。
- 議会制民主主義。国民が選挙で選出した議会在法を制定し、議会在制定した法は、同法に矛盾する宗教的・世俗的な「律法」に優先します。
- 機会均等。性別、性的指向、年齢、障がい、人種、出生国や出身民族に関わらず、全ての人に平等な機会が与えられます。
- 以下の要素を包含し、全ての人々が享受する「フェア・ゴー(fair go)」の精神
 - 相互尊重
 - 寛容さ
 - 支援を必要とする人への同情
 - 全ての人を対象とする機会均等
- オーストラリア社会を統合する重要な要素たる、国語としての英語

上記の価値観は、「オーストラリアの価値観に関する宣誓書」(Australian Values Statement)に明記されています。

オーストラリアの価値観に関する宣誓書

ビザ申請者は通常、オーストラリアの価値観を認め、その価値観に即した行動をすることを約束する「オーストラリアの価値観に関する宣誓書(Australian Values Statement)」への署名を求められます。

「オーストラリアの価値観に関する宣誓書」への署名が必要な申請者には、申請時にその旨が伝えられます。ビザ申請にあたって「オーストラリアの価値観に関する宣誓書」への署名が必要な場合は、宣誓書の内容がビザの申請用紙に記載されています。申請用紙には、「オーストラリアの価値観に関する宣誓書」への署名にあたっての年齢要件(申請の種類により異なります)も記載されています。

「オーストラリアの価値観に関する宣誓書」への署名に先立ち、申請者はオーストラリア政府が提供している、オーストラリアの価値観に関する情報を読む(または説明を受ける)ことが推奨されます。本冊子に記載されている情報は、申請者が「オーストラリアの価値観に関する宣誓書」に署名する前に、オーストラリアの価値観についての理解を深めるのに役立つ目的で編纂されています。

オーストラリア国外から人道的ビザを申請する者は、面接の際に「オーストラリアの価値観に関する宣誓書」への署名を求められます。申請者は面接時に本冊子の内容に関する説明を受けるため、本冊子を事前に読むことは求められていません。この特例は、オーストラリア国外から人道的ビザを申請する者の多くが置かれている困難な状況に配慮して設けられています。

海外人道プログラムによる認定を受けている者は、オーストラリアに向けて出発する前に、オーストラリア文化オリエンテーション(AUSCO)を受講することが推奨されています。AUSCO プログラムは、オーストラリアへ渡航し定住することについての情報を提供するもので、南アジア、東南アジア、アフリカ、中東の各地で開催されています。必要に応じて、これらの場所以外でも追加で開催されます。

「オーストラリアの価値観に関する宣誓書」は以下のとおりです。

該当するビザの申請者全員が対象(一時滞在ビザの申請者も含む)

私は、オーストラリアの社会と価値観に関してオーストラリア政府が提供している情報を読む、または説明を受けたことを確認します。

私は、オーストラリア社会が以下の価値観を堅持していることを理解しました。

- 個人の自由と尊厳の尊重
- 信教の自由(特定の宗教を信仰しない自由を含む)、言論の自由、結社の自由
- 法の支配の擁護。国内の全ての人々は法の支配を受け、法を遵守しなければならないということを意味します。
- 議会制民主主義。国民が選挙で選出した議会在法を制定し、議会在制定した法は、同法に矛盾する宗教的・世俗的な「律法」に優先します。
- 機会均等。性別、性的指向、年齢、障がい、人種、出生国や出身民族に関わらず、全ての人に平等な機会が与えられます。
- 以下の要素を包含し、全ての人々が享受する「フェア・ゴー(fair go)」の精神
 - 相互尊重
 - 寛容さ
 - 支援を必要とする人への同情
 - 全ての人を対象とする機会均等
- オーストラリア社会を統合する重要な要素たる、国語としての英語

私は、オーストラリアでの滞在期間を通して、オーストラリア社会が掲げるこれらの価値観に従い、オーストラリアの法を遵守することを約束します。

永住ビザ申請者には、上記に加えて以下の内容も該当します。

私は、英語が母国語でない場合、英語を習得するために適切な努力を払うことを約束します。

私は、将来私がオーストラリア国籍取得の法的要件を満たし、申請が受理された場合は、オーストラリアの国家と国民への忠誠を誓うことが求められると理解しています。

紙の申請書を提出する場合は、「オーストラリアの価値観に関する宣誓書」への署名を求められます。

オンライン申請の場合は、申請の代表者が「オーストラリアの価値観に関する宣誓書」に「同意(agree)」することが求められます。被扶養者も含むオンライン申請で、被扶養者が一定の年齢に達している場合、申請代表者は、当該

被扶養者が「オーストラリアの価値観に関する宣誓書」の説明を受け、内容に同意していることに同意する必要があります。このような状況では、申請代表者が自分と被扶養者を代表して宣誓書に同意することになります。

オーストラリアの価値観と原則

オーストラリアが共有する、自由、尊重、公正、機会均等に根ざした価値観は、世界で最も成功した多文化社会の一つを作り上げたオーストラリアが、安全で繁栄した平和なコミュニティであり続ける上で中心的な役割を果たしています。

オーストラリアの価値観は、他国と一部共通する内容を持つものの、世界中から何百万人もの移民を受け入れて成長してきたオーストラリアの独特な状況に沿った内容となっています。オーストラリアの価値観を表現する方法は人によって異なりますが、本質は共通しています。この価値観がオーストラリアの国と文化を定義し、形作っているため、オーストラリア人になることを希望する人は後を絶ちません。

オーストラリアの最初の住民はアボリジニ人およびトーレス海峡諸島人で、現在残る世界最古の文化と伝統を受け継いでいます。初期の移民は英国人やアイルランド人が多く、このアングロケルト系の伝統は今もオーストラリアの歴史、文化、政治的伝統を強く特徴付けています。その後、英国人やアイルランド人に続き世界中から移民が続々と渡豪し、オーストラリアとオーストラリアでの生き方に、独自の貢献を果たしてきました。

オーストラリアの共通の価値観に関する宣言は、全ての人を同一の型にはめ、同じ信条を持たせようとするものではありません。オーストラリアの価値観は長い年月をかけて論議され推進されてきたものであり、多様な民族・文化的背景を持つ人々を現在までに何百万人も受け入れてきた素地となっています。

オーストラリアの価値観は、新しくオーストラリアで暮らす住民やこれからオーストラリア国民となる人々が、オーストラリア多文化社会の形成と維持を成功に導いてきた基本的な価値観を理解する上での一助となることを目的としています。オーストラリアでは多くの自由が享受されていますが、そのためには、民主的に選出された政府が秩序の保たれた自由で安全な社会を維持するために制定するオーストラリア法規を、全ての人が遵守しなければなりません。

オーストラリアの価値観

個人の自由と尊厳の尊重

オーストラリアでは、一人ひとりが他者の自由と尊厳、意見や選択を尊重しなければなりません。

他者に対して暴力をふるうことは禁止されています。言葉や暴力による虐待も含め、あらゆる種類の暴力は違法です。暴力を伴わずに異なる意見を持つことができるはずであり、何よりも、暴力や脅迫にさらされずに生きる権利を全ての人が有しているとオーストラリア人は信じています。

信教の自由

オーストラリアに国教はありません。全ての人には自由に宗教を選んで信仰することができます。政府は、宗教や信仰を問わず全ての国民を平等に扱います。ただし、宗教的行為がオーストラリアの法を破ることは許されません。またオーストラリアでは、宗教を信仰しない自由もあります。

宗教が定める律法は、オーストラリアにおいて法的効力を有しません。オーストラリア法は国内全ての人に適用され、たとえ同法が宗教の律法と異なっても、全ての人々がオーストラリア法を遵守しなければなりません。

オーストラリア社会では、宗教的非寛容は許されません。オーストラリア法を遵守する限りにおいて、出自や宗教に関わりなく、各自の目標や関心を追求する均等な機会が全ての人に与えられています。

言論の自由

オーストラリアでは法の範囲内で、人々が自分の意見を自由に表明することができます。オーストラリアでは誰もが、社会的あるいは政治的な討論を目的として、公的または私的な場所で自由に集うことができます。また、あらゆる話題について自分の思ったことを自由に言ったり書いたりすることができます。他者と討論することができます。新聞、テレビ、ラジオにも同様の自由が保障されています。

個人や集団に対して(文化、人種、宗教、出自に基づく理由などで)暴力を推奨することは、オーストラリアの価値観と法に反しており、許容されることは決してありません。事実無根の訴えをしたり、他者に法律違反を勧めたりすることも違法です。他者の言論の自由は、法が許す限り尊重しなければなりません。

結社の自由

オーストラリアでは誰もが、合法である限り、あらゆる団体に所属したり脱退したりできます。政党、労働組合、宗教団体、文化的団体、社会的団体など、合法的な団体であればどれにでも自由に所属できます。団体への加入や脱退を個人に強制することは許されません。

オーストラリア人は、政府や特定の団体の動きに対する抗議行動などを目的として、自由に集うことができます。民衆による平和的な抗議行動を容認することは民主主義の本質であるため、オーストラリア人は政府の行動に対して平和的な抗議行動を起こすことが許されています。ただし、一切の抗議行動は法律に従って行う必要があります。つまり、他者を傷つけたり物を壊したりせず、平和的に行わなければならないということです。

法の支配の擁護

オーストラリア人は全員、オーストラリア法と司法制度に守られています。オーストラリア人は、平和で秩序ある社会を維持するために、法律が重要であることを知っています。

「法の支配」の下、全てのオーストラリア人は法的に平等であり、いかなる個人も団体も法を超越した存在ではありません。オーストラリアでは、一人ひとりが常に法を遵守し、法を犯さないようにしなければなりません。法を犯した場合には罰を受けることになります。誰も見ていないところでも、法は守らなければなりません。

オーストラリア法は、オーストラリア国内にいる人全てに適用されます。つまり、出自や文化に関わらず、オーストラリア法に従わなければならないということです。

議会制民主主義

オーストラリアの政体は議会制民主主義です。オーストラリアの法は、国民が選出した議会が作ります。この制度はつまり、オーストラリア国民が自国の統治に関与しているということを意味します。議会で自らを代表する人物をオーストラリアの国民が選出するため、政府の力は国民に由来します。

全ての人を対象とする機会均等

オーストラリア社会は、性別、性的指向、年齢、障がい、宗教、人種、出身国や出身民族に関わらず、全ての人々が平等に有する権利を尊重しています。オーストラリアには個人が他者と異なる扱いをされることを防ぐための法律がいくつかあります。

オーストラリアでは法律を適用することで、特定の背景を持つ人が優遇されないようにしています。

オーストラリアでは男性と女性は同等の権利を持っており、各自の目標や関心を追求する均等な機会が与えられることになっています。性別による差別は違法です。

男性も女性も、結婚や宗教など自分の個人的な問題について自由に決定する権利を有しています。また、法律によって脅迫や暴力から守られています。

全ての人々が享受する「フェア・ゴー」の精神

オーストラリアでは、誰もが「フェア・ゴー(fair go)」（公平な機会）に値し、階級による差別は一切あってはならないと信じられています。出自に関わりなく、人生において成功を収めるための機会が、全ての人に等しく与えられています。一人ひとりが同じ法的権利を確実に享受するというのが、オーストラリア社会における公平さの重要な要素となっています。各自が人生において達成する成果は、自身の努力と能力の結果であるべきです。

オーストラリアに新たに移住してきた人の中には、自身の努力と活動によって専門職、芸術、公務、スポーツの世界で第一人者となった人がたくさんいます。

相互尊重と他者に対する寛容さ

オーストラリアは、相互尊重と寛容の原則を重視しています。この原則は、たとえ自分と異なる視点や意見であっても、他者に耳を傾け、異なる視点や意見を尊重するということを指します。意見の相違がある場合でも、互いに寛容であることが大切です。

オーストラリアは人種差別を許しません。人種差別には、インターネットやその他の出版物において特定の人種を攻撃するコンテンツを作成したり共有したりすることや、公共の場やスポーツの試合において特定の人種を非難する発言をすることも含まれます。

人種差別にあった場合は、オーストラリア人権委員会(Australian Human Rights Commission)に苦情を申し立てることができます。

参照: [Human Rights Commission](#).

支援を必要とする人への同情

オーストラリア人は「メイトシップ(mateship)」を大切にしています。「メイトシップ」とは、困ったときお互いに助けあうことを意味しています。たとえば、近所のお年寄りに食事を届けること、友達が医師などの診察に行く際に車を出してあげること、病人や体の弱った人、孤独な人を訪問することなどが例として挙げられます。

メイトシップ精神の下、オーストラリアには、互いを必要とし地域を強化するための、社会奉仕とボランティアの強力な伝統が根付いています。ボランティアへの参加は、知識を共有し、新たなスキルを習得し、オーストラリア社会とのつながりや一体感を高める、素晴らしい機会です。オーストラリアには、ボランティアに参加する機会がたくさんあります。

国語としての英語

オーストラリアは、社会を統合する重要な要素たる国語として、英語を大切にしています。オーストラリアに居住する人は、英語を習得するために努力することが求められます。

英語が話せるようになると、教育や就職の機会が広がり、地域にもなじみやすくなります。経済への参加と社会的結束に英語は欠かせません。

オーストラリア社会の現状

現在のオーストラリア社会を特徴付ける要素の一つとして、人々の文化的多様性と、多様性を越えたオーストラリアへの忠誠によって人々が団結しているということが挙げられます。

もう一つの決定的な特徴は、オーストラリア社会の民主性です。民主性があるということは、皆が同じであったり、万人が等しく富や財産を持っていたりすることを指すわけではありません。民主性があるということは、上流社会とのつながりや影響力の強い後援者からの引き立てがない人でも、自分の努力と信念で成功する可能性があるということの意味します。

オーストラリア法の枠内で、全てのオーストラリア人は自らの文化や信条を表現し、オーストラリア国内での生活に自由に加わることができます。オーストラリアには、何人も出生国、文化的背景、言語、性別、宗教を理由として不当に扱われるべきではないという固い信念があります。

安定した、平和で繁栄した社会を維持するため、オーストラリア人はいかなる背景を持つ者も、オーストラリア社会を支える共通の原則と価値観を支持することが求められます。

法と社会慣習

オーストラリア社会における個人の行動は、公式の法律と非公式の社会慣習によって律されています。

オーストラリア国内にいる人は全て、オーストラリアの法律を遵守しなければならず、違反すると刑事訴訟や民事訴訟の対象となることがあります。オーストラリアにいる人はまた、法的拘束力は通常ないものの、オーストラリアの社会慣習、習慣、慣行を遵守することも求められています。

オーストラリアの法律は、連邦議会や州・準州議会が立法します。警察は地域の平和と秩序を守る役目を担い、法を犯したと判断される者を裁判所に送ります。地域や近隣の住民も、問題が発生した場合には互いに助け合い、異常や不審な点は何でも、最寄りの警察署に通報します。

オーストラリアには全国を管轄するオーストラリア連邦警察(Australian Federal Police)があり、薬物密輸、不法移民、国家の安全保障に対する罪、環境に対する罪など、連邦法に抵触する犯罪を捜査します。オーストラリアの全州と北部準州には独自の警察組織があり、それぞれの州法・準州法に基づいて犯罪を取り締まっています。首都特別地域は、オーストラリア連邦警察の管轄です。

警察官は人を逮捕することができ、裁判所に証拠を提出することができますが、最終的に有罪か無罪かを判断することは出来ません。最終的な判決は裁判所が下します。

オーストラリアでは、警察と地域社会が互いに良い関係を維持するよう努めています。誰でも警察に犯罪を通報したり、支援を要請したりできます。警察に質問されたら落ち着いた態度で対応し、合法的な要求を提示された場合には、礼儀正しく協力的な態度で応じましょう。

人物要件

オーストラリア政府は、地域を安全に保ち、全てのオーストラリア人の福祉を確保することに尽力しています。オーストラリアに入国し、留まることは当然の権利ではなく、特恵です。オーストラリア政府は、犯罪や、オーストラリア社会の安全と秩序を乱すおそれのある行為を許容しません。法を意図的に犯し、オーストラリアの地域が求める規範を守れない人は、オーストラリアに留まる特恵を失うことを覚悟する必要があります。人物要件を満たさない移民は、ビザや国籍を却下されたり剥奪されたりすることがあります。

以下に挙げる条件も含め、オーストラリア国籍を持たない者が人物要件を満たせない場合は何通りかあります。

- 12 か月を超える禁固刑など、重大な犯罪歴を持つ
- 未成年に対する性犯罪で有罪判決を受けている
- オーストラリアへ入国・滞在を認められた場合、オーストラリアの地域全体または一部に危害が及ぶおそれがある

ビザを剥奪された者は、合理的に可能な限り速やかに国外退去させられます。国外退去となった者は再入国禁止となり、場合によっては永久に再入国できなくなります。

ドメスティック・バイオレンスや家庭内暴力

家族・友人・大切な人と良好で安全な関係を持つ権利は、全ての人が有しています。オーストラリアでは、他者に対する暴力は違法であり、重罪です。ドメスティック・バイオレンスと呼ばれる家庭内や配偶者に対する暴力も、この種の暴力に含まれます。恐怖を抱かせたり安全を脅かしたりしてパートナーを支配しようとする行動や脅迫も、ドメスティック・バイオレンスや家庭内暴力とみなされます。叩いたり、家族の一員を友人や他の家族と会えないようにしたり、子どもやペットを脅したりすることも、ドメスティック・バイオレンスや家庭内暴力です。ドメスティック・バイオレンスは許容されることのない犯罪です。

男性でも女性でも、このような罪を犯した場合、投獄されることがあります。虐待や暴力を許してはいけません。

自分や知り合いが危険にさらされているときは、警察に通報しましょう。

参照: [「respect」と「1800respect」](#)

性別・性的指向・年齢・障がいに基づく差別

性差別禁止法 (Sex Discrimination Act 1984)、年齢差別禁止法 (Age Discrimination Act 2004)、障がい者差別禁止法 (Disability Discrimination Act 1992) により、オーストラリアの連邦法は、公共の生活における様々な場面の性別・性的指向・年齢・障がいに基づく差別を禁止しています。オーストラリア人権委員会 (Australian Human Rights Commission) は、これらの法律に基づき訴えに対処します。

参照: [Human Rights Commission](#).

インターネット上での安全

インターネット上での加害行為はオーストラリアで禁じられています。この種の行為はネットの悪用とも呼ばれています。たとえば、同意を得ずに性的な画像や動画を共有したり、ネット上でつきまとったり、個人に対する人種差別的なコメントをネットにあげたりといった行為が該当します。ネットの悪用の多くは、オーストラリアで違法とされています。

参照: [esafety](#)

オーストラリアの職場での権利

スポンサーの有無に関わらず、ビザを保有してオーストラリアで就労する者は、職場における権利と保護を享受します。これらの権利と保護は、契約によって取り上げることができません。

最低賃金や最低労働条件は、オーストラリア法で定められています。

オーストラリアン・フェアワーク・オンブズマン (Australian Fair Work Ombudsman) の、ビザ保有者や移民に向けたウェブページには、オーストラリアで就労する前に知っておくべき内容、賃金体系、休暇、従業員の福利厚生に関する情報がまとめられています。

参照: [Visa holders & migrants](#)

フェアワーク・オンブズマンは、職場における権利義務について、詳しい情報を提供したり相談に応じたりしています。また、職場に関する情報も各言語に翻訳し提供しています。

参照: [Fair Work Ombudsman](#)

より詳しい情報

「オーストラリアで生活を始める (*Beginning a Life in Australia*)」という冊子には、移民や人道的配慮に基づく入国者で最近オーストラリアに入国した者や、このような入国者のスポンサーやサービス提供者が活用できる、定住に関する情報および各種ウェブサイトや資料へのリンクがまとめられています。

参照: [Beginning a Life in Australia](#)